



日時	2026年1月17日 9:30						試合形式	45分×2+30分		
会場	ビーラインフットボールセンター姶良						ピッチ状態	天然芝		
日本代表			3	0 1 2	1set 2set 3set	6 4 6	16	鹿児島ユナイテッドFC U-18		
警告・退場	3set	2set	1set	チーム合計			1set	2set	3set	警告・退場
	5	5	2	12	シュート	34	15	8	11	
	2	3	9	14	GK	6	3	2	1	
	0	0	0	0	CK	14	7	1	6	
	2	2	0	4	直接FK	2	1	1	0	
	1	1	1	3	間接FK	1	0	1	0	
	1	1	1	3	(オフサイド)	1	0	1	0	
	0	0	0	0	PK	1	1	0	0	



【得点経過】

1set (45分)

- 26分[KUFC U-18]
- 35分[KUFC U-18]
- 37分[KUFC U-18]
- 41分[KUFC U-18]
- 43分[KUFC U-18]
- 44分[KUFC U-18]

2 set (4 5分)

9分[KUFC U-18]
3 3分[KUFC U-18]
3 8分[KUFC U-18]
4 0分[KUFC U-18]
4 1分[日本] 梅村

3 set (3 0分)

1分[日本] OG
2分[KUFC U-18]
5分[KUFC U-18]
1 5分[KUFC U-18]
1 9分[KUFC U-18]
2 1分[KUFC U-18]
2 6分[日本] 松野
2 7分[KUFC U-18]

【交代】

1set (4 5分)

1 8分[日本] IN 奥田 ⇄ OUT 水内
3 7分[日本] IN 小川 ⇄ OUT 小才

2 set (4 5分)

0分[日本]	IN 犬塚	↔	OUT 奥田
0分[日本]	IN 大久保	↔	OUT 下鶴
0分[日本]	IN 原田	↔	OUT 徳村
0分[日本]	IN 幾島	↔	OUT 松野
0分[KUFC]	IN NO.25	↔	OUT NO.1
0分[KUFC]	IN NO.16	↔	OUT NO.10
0分[KUFC]	IN NO.15	↔	OUT NO. 9
0分[KUFC]	IN NO.11	↔	OUT NO.13
6 0分[KUFC]	IN NO.2	↔	OUT NO.4
6 0分[KUFC]	IN NO.3	↔	OUT NO.8
6 0分[KUFC]	IN NO.5	↔	OUT NO.17
6 0分[KUFC]	IN NO.7	↔	OUT NO.20
6 0分[KUFC]	IN NO.14	↔	OUT NO.21
6 0分[KUFC]	IN NO.19	↔	OUT NO.22
6 1分[日本]	IN 結城	↔	OUT 佐藤
6 6分[日本]	IN 福原	↔	OUT 武田
7 3分[日本]	IN 阿久津	↔	OUT 大野
7 3分[日本]	IN 梅村	↔	OUT 犬塚
7 3分[KUFC]	IN NO.6	↔	OUT NO.18
8 7分[日本]	IN 武田	↔	OUT 横井

3 set (3 0 分)

0分[KUFC]	IN	NO.2	↔	OUT	NO.20
0分[KUFC]	IN	NO.9	↔	OUT	NO.15
0分[KUFC]	IN	NO.12	↔	OUT	NO.25
0分[日本]	IN	徳村	↔	OUT	原田
0分[日本]	IN	松野	↔	OUT	小川
0分[日本]	IN	大野	↔	OUT	阿久津
0分[日本]	IN	下鶴	↔	OUT	幾島
0分[日本]	IN	水内	↔	OUT	梅村
9分[日本]	IN	佐藤	↔	OUT	武田
15分[日本]	IN	幾島	↔	OUT	大野
15分[日本]	IN	阿久津	↔	OUT	大久保
15分[日本]	IN	水内	↔	OUT	梅村
20分[日本]	IN	原田	↔	OUT	徳村
22分[日本]	IN	小川	↔	OUT	下鶴

ゲームコンセプト

「全員攻撃/全員守備、良い守備から攻撃へ、90分 total の戦い」

攻撃コンセプト

- ・中央突破(2人はDF間突破+3人コンビネーション)
- ・サイド崩し(ソロ)(コンビネーション)(ニアゾーン)
→ニア・プルバック・ファー
- ・ビルドアップ
→少ないタッチ+パススピード(サイドチェンジ・意図的な緩急)+サポート

守備コンセプト

- ・1vs1で絶対に負けない
- ・前線、中盤の守備、ゴール前の守備(PAに入らない・2ブロックコントロール)
- ・クロス対応(同一視・人をつかまえる・ボールに寄せる・GKと連携)
- ・プレスバック

切り替え

- ・【守→攻】カウンター、1タッチパス、直線(逆サイド)に飛び出す、インターフェースパス
- ・【攻→守】状況に応じ「ゴールを守る」が優先

ゲーム内容

合宿二日目に、鹿児島ユナイテッド FC U-18とのトレーニングマッチ（45分×2セット、30分×1セット）を実施した。

1セット目は、相手の流動的な攻撃や2列目からの飛び出しに対し、守備の受け渡しがうまくいかず、マークを外す場面が多く見られた。また、前線からのプレッシングも連動しない場面もあり、相手に前進を許す状況が続いた。前半26分、右サイドからペナルティーエリア外中央へグラウンダーのボールを入れられ、ワンタッチで落とされたところをコントロールシュートで決められ先制を許した。その後もラインコントロールが不十分で、ギャップを突かれてペナルティーエリア内に侵入される場面や、PKを与える場面があり、残り10分を切ってから連続失点となった。攻撃面では、判断を急ぐ場面が多く、ボール保持が安定しなかった。

2セット目は、両チームともに4名ずつ選手を交代してキックオフとなった。開始9分、ビルドアップ時の縦パスを奪われ、そのままドリブルで侵入される。ワンタッチパスを3本連続で通され、ボールを受けた選手にディフェンダーをコントロールで外されてシュートを打たれ失点した。その後も1セット目同様、残り10分前後から右サイドからのクロス対応でボールウォッチャーになる場面や、ペナルティーエリア内外のセカンドボールを拾われる場面が続き、連続失点となった。一方、攻撃面では1セット目に比べてシュート数が増加し、オフサイドになる場面もあったが、相手コートへボールを運ぶ時間はやや増えた。残り4分には、ペナルティーエリア内からの大久保のクロスを相手ゴールキーパーがこぼし、そのこぼれ球を梅村が押し込み1点を返したが、反撃はこの1点にとどまった。

3セット目は、日本のキックオフから右前方のスペースへロングボールを配球した。大野がヘディングで前線へ送ったボールはいったん相手ディフェンダーに奪われたが、梅村が積極的にプレスをかけ、ゴールキーパーに渡ったボールにも二度追いを行い、コントロールミスを誘発。その結果、オウンゴールで先制点を奪った。しかし直後、自陣ペナルティーエリア内でプレッシャーを受けた状態でのバックパスがずれ、オウンゴールという形で失点した。その3分後にも、出し手と受け手の意思疎通不足からのバックパスを奪われ、素早い攻撃を受けて失点した。終盤には、ゴールキーパーへのバックパス、ショートコーナーの対応、パスやコントロールミスを相手に突かれ、立て続けに失点した。26分には、相手ペナルティーエリア外右サイドから阿久津が放ったシュートをゴールキーパーが弾き、相手が一度はクリアしたものの、浮いたこぼれ球を松野が見事なヘディングシュートで決め得点した。しかし、その直後に相手のワンツーから中央を突破され、再び失点となった。

本試合は、3セットを通して終盤約10分間における集中力と守備対応の低下が顕著に表れたゲームであった。